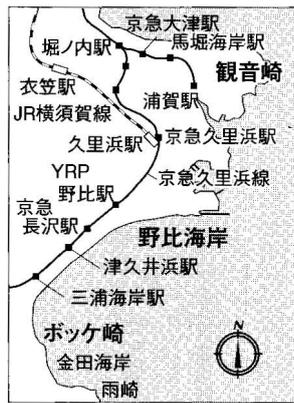


東岸釣り場移動例



■1日目

- 【品川駅】
- ↓ 京急本線
- 【京急大津駅】
- ↓ 徒歩
- 【ポイント横須賀大津店】
- ↓ 徒歩
- 【大津一丁目バス停】
- ↓ 京急バス
- 【「観音崎」バス停】
- ↓ 徒歩
- 【観音崎堤防】①釣り
- ↓ 徒歩
- 【京急ホテル下の磯】②釣り
- ↓ 徒歩
- 【「観音崎」バス停】
- ↓ バス
- 【浦賀駅バス停】【浦賀駅】
- ↓ 京急本線
- 【堀之内】経由【三浦海岸駅】
- ↓ バスまたはタクシー
- 【高抜バス停】
- ↓ 徒歩
- 【ボッケ崎】③釣り

※2日目は、余裕があれば「三浦海岸駅」から京急に乗り、「YRP野比駅」下車。徒歩で野比海岸に向かい、昼頃まで竿を出すことも

■2日目

- 【「高抜」バス停】
- ↓ 京急バス
- 【「三浦海岸駅」バス停】【三浦海岸駅】
- ↓ 京急本線
- 【品川駅】

く。加えて車中では他の乗客への配慮も考えなくてはならないし、雨のときはどうするか、暑さ寒さへの対応など、考えることはたくさんある。しかし、これらをクリアしなければ長く行き続けることもできない。

そこで私は、釣行の度に重くて不便と感じた釣り具の軽量化かつコンパクト化を考え、改良を試みたので紹介したい。

まず道具を大きく分けると、①リュックサック、②投げ用クーラー、③ロッドケースの3点。大事なことは、背負えるタイプのバッグにできる限り重量のある物



「ポイント横須賀大津店」からほど近い、観音崎行きのバス停。京急大津駅と釣具店の中間地点にある



夜間でも移動しやすいのが三浦半島の強み。浦賀駅から一旦堀之内に戻り、三浦海岸駅を目指す

三浦半島東岸② 野比海岸周辺

ポイントは、テトラ堤の際と、内側に点在する沈み根周り。走水・観音崎周辺のようにキュウセン、メゴチは少ないが、周年を通してクサフグが極端に多く、このエサ取りとの戦いが大ギスを征すると言ってよい(野比のクサフグは大型で小バリ、細ハリスでは消耗が激しく釣りにならない。そのため10号以上のハリ、フロロカーボン4号以上、もしくはナイロンコーティングワイヤーのタチウオ用ハリス#45×7番をハリスに使用。エサは取られるが、ハリ、ハリスの消耗はかなり少なくなる。大ギスの食いに関しては問題はないようである)。

釣期は5月初旬～12月初旬と長い。強い南風や列島南岸を通過する低気圧によるウネリがあるとは釣りにならない。このため夏場の高気圧の安定した日、もしくは台風シーズンが終了する10月後半～11月いっぱいもの落ちのシーズンが海も釣果も安定する。

6月からは夜間も大型が単発で釣れるようになるが、日中、特に午前8時以降の満干潮前後に食いが立ち複数の大型が釣れる傾向にある。早朝、多くのキャスターが型を見られずに去った後、思わぬ大釣りをするのが、私のいつものパターン。エサ取りに負けずに粘ることが釣果につながる。

南向きのため夏の南風や台風のウネリの影響を受けやすい野比海岸。6月30日には案内した友人が26cmを仕留めた



- ① 軽量かつコンパクトな登山用レインウェアの上下、重量600g (モンベル社製)
- ② 小型タックルボックス。糸付バリ9〜12号各15セットをA7サイズのチャック付小型ビニールバッグに収納したものを10種類ツである。
- ③ 替えプール2個
- ④ テンピン(遊動式) 20号を最大8個。ハリス、ハリ、竿先ライト等の小物を収納した小型ポーチ
- ⑤ リール2台
- ⑥ レジャーシート、水汲みバケツ、尻手ロープ、タオル等
- ⑦ フロント、サイドポケット
- ⑧ 医薬品、ウェットティッシュ等を小型ポーチに収納したもの2個
- ⑨ ヘッドランプを2個(予備電池は必需)
- ⑩ 小型竿三脚

小型タックルボックスに入れた仕掛け類。すぐに取り出して使えるようにコンパクトに収納。肩のシールに「流11」「流12」などハリを明記



仕掛けボックスは、金具を取り付け、釣りをしているときはクーラーのサイドボックスへ。なお、クーラー軽量化のためサイドボックスは基本空。釣り場では飲み物(ペットボトル2本)だけを入れている